



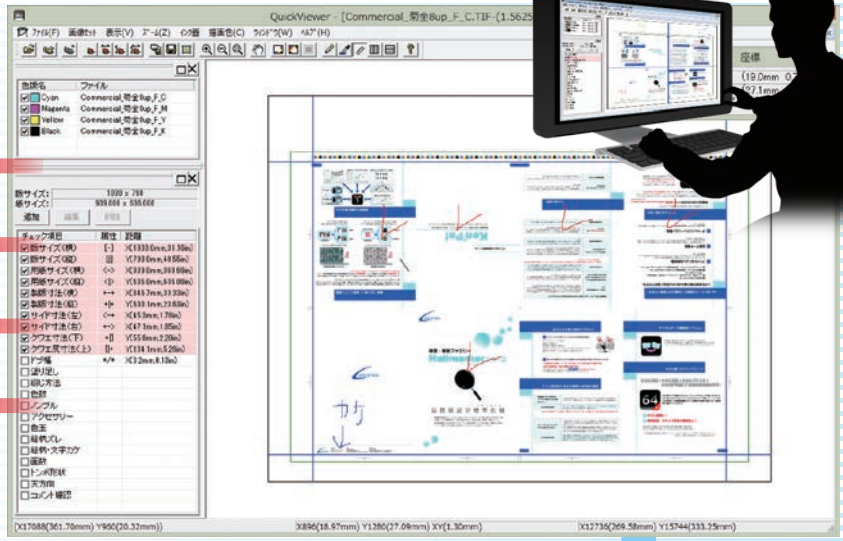
Digital Plate Checker

デジタルプレートチェッカー

もう、刷版確認にプリント出力は不要です



- 出力用紙の無駄をなくす
- プリント時間の無駄をなくす
- 作業スペースの無駄をなくす
- インキ代の無駄をなくす



実は全てがモニターでチェックできれば
そもそも紙に出力する必要がない項目ばかりでした

チェック項目	属性	チェックデータ
<input type="checkbox"/> 版サイズ(横)	[-]	X(1030.1mm,40.55in)
<input type="checkbox"/> 版サイズ(縦)	[]	Y(790.0mm,31.10in)
<input type="checkbox"/> 用紙サイズ(横)	[-]	X(939.0mm,36.97in)
<input type="checkbox"/> 用紙サイズ(縦)	[]	Y(636.0mm,25.04in)
<input type="checkbox"/> 製版寸法(横)	[-]	X(939.0mm,36.97in)
<input type="checkbox"/> 製版寸法(縦)	[]	Y(636.0mm,25.04in)
<input type="checkbox"/> クワエ寸法(下)]]	X(40.0mm,1.57in)
<input type="checkbox"/> クワエ尻寸法(上)	[[Y(114.0mm,4.49in)
<input type="checkbox"/> サイド寸法(左)	[-	X(0.0mm,0.00in)
<input type="checkbox"/> サイド寸法(右)	-]	X(0.0mm,0.00in)
<input type="checkbox"/> ドブ幅	*/*	
<input type="checkbox"/> 塗り足し		
<input type="checkbox"/> 網調方法		
<input type="checkbox"/> 色数		
<input type="checkbox"/> ノンブル		
<input type="checkbox"/> アクセサリー		
<input type="checkbox"/> 色玉		
<input type="checkbox"/> 絵柄ズレ		
<input type="checkbox"/> 絵柄・文字欠け		
<input type="checkbox"/> 面数		
<input type="checkbox"/> トンボ形状		
<input type="checkbox"/> 天方向		
<input type="checkbox"/> コメント確認		

1bitTIFFを高速に扱うことが出来るビットスルーシリーズだからこそ可能にしたこれからの刷版チェックの標準です

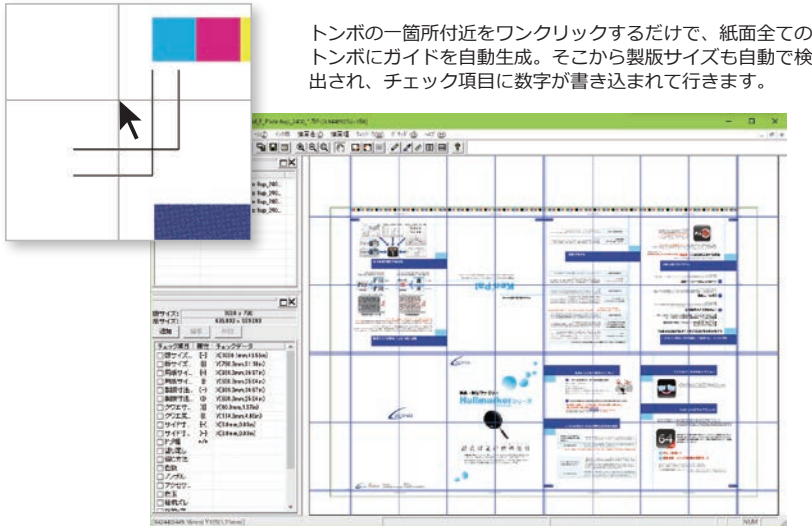
紙に出力してチェックしていた項目を全て網羅。
デジタルで処理するため、各サイズチェックは更に正確に、瞬時に行うことが出来ます。チェック項目はそのまま記録としても残り、独自に項目をカスタマイズすることも可能です。



主な機能

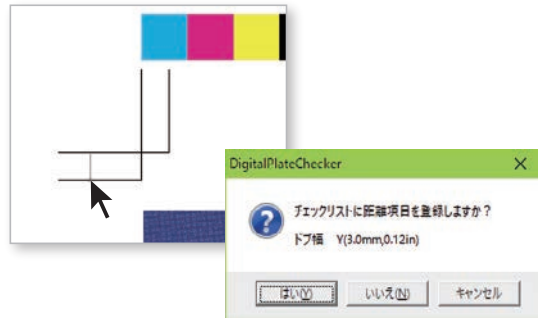
- トンボを検出しガイドを自動作成します
- CTP用1bitTIFFファイルをダイレクトにオープン。8bitTIFFにも対応。
- 水平・垂直ガイド描画機能でイメージサイズをチェック
- ものさし機能で仕上がり、くわえ等の計測・保存 (インチ表示対応)
- 手書き描画機能で問題箇所を簡単に指摘
- 表裏透かし表示
- インキ壺の配分を可視化、ゴーストのチェック
- チェック機能付き確認リストで寸法、結果保存
- 検版結果の書き出し

各サイズ計測は自動でも、手動でも、モニター上で瞬時に計測



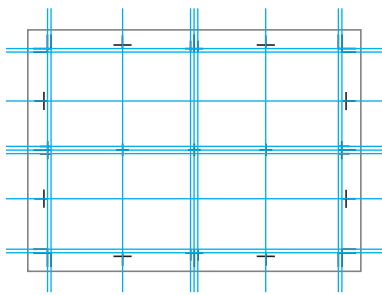
ものさしツール

また「ものさしツール」により、手動で距離を計測することも可能です。デジタルなので、モニター上のどこでも正確な数値で計測することが可能です。



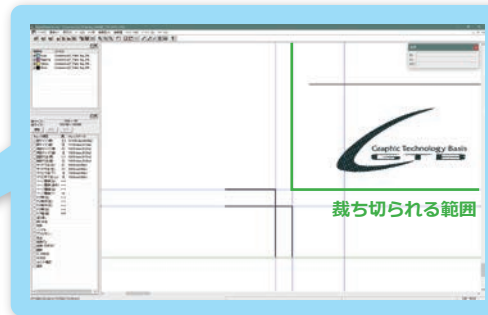
計測したい項目を選んで計測し、各項目のサイズを簡単に登録して行きます。

デジタルだからできる、保存されたテンプレートからの一発製版サイズチェック

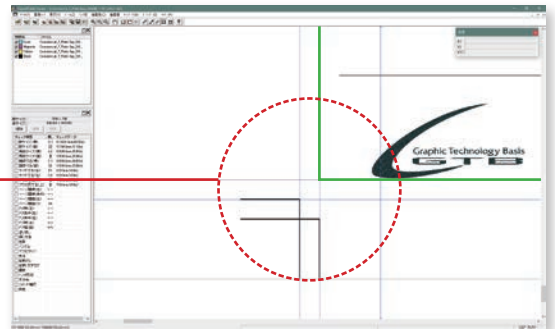


定型の仕事が多い場合などは、事前に決まったガイドをテンプレートとして保存することが出来ます。刷版を開いて、テンプレートガイドを読み込むだけで瞬時にチェックが可能です。

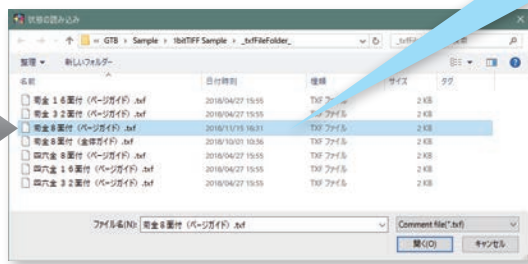
テンプレートガイド



テンプレートガイドと比較



保存



手書き機能で、従来の様にメモやチェックを直接書き込むことも可能です



デジタルの恩恵を受けながら、従来の紙でのチェックの様に手書きでチェックやメモを残すことも可能です。線の太さや色も変更可能で、ペンタブレットなどを使用すれば、さらに素早く項目を手書きすることが可能です。